

平成 13 年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] 障害児福祉事業 (602)

[評価年月日] 平成12年11月9日

[主担当部課名] 健康福祉部障害保健福祉課

[記入課名・課長名・電話] 障害保健福祉課長 長坂裕二 059-224-2277

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：健やかな生活の確保 (—2)

施策：子育て環境の整備 (3)

総合計画の目標項目：重症心身障害児（者）通園事業実施力所、心身障害児通園事業実施力所

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去 現状 将来)

- ・在宅生活を希望する障害児者が増えている。 ・重症心身障害児者の入所、通所ニーズが増大している。 ・平成7年末に国の障害者プランが策定され、県においても平成10年3月に障害者計画を改訂し、整備目標を設定した。
- ・介護者の高齢化に伴い、重症心身障害児者の入所、通所のニーズが高まり、今後も需要が増大する。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

心身に障害のある児童の早期発見、治療、療育により、障害の軽減及びその介護者の介護負担を軽減を図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)

- * 障害児通園事業目標達成率 (児デイサービス) 実績 / 総合計画目標数
(重心通園) 実績 / 総合計画目標数

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因 指標の有用性 設定の理由など)

子どもの発達段階に応じた支援体制の充実、子育てに安心感が持てる環境づくりが必要であり、中でも、保護を必要とする子どもへの支援については、心身に障害を持つ子どもの早期発見とともに、治療、療育が身近なところで実施できる支援体制を整備する必要がある。

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

子どもを安心して生み育てられるとともに、子どもが健やかに成長できる環境が整っています。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

- ・平成11年1月から、草の実リハビリテーションセンターにおいて、重症心身障害児（者）通園事業を開始（基本事務事業・県立障害児（者）福祉施設等事業）
- ・障害児デイサービスを実施する市町村（8市町村）に対する運営費助成及び児童施設入所等

に伴う措置費の負担

- ・重症心身障害児者等を対象とした療育指導、社会適応訓練等を一部関係団体に委託し実施
- ・

前年度に残った課題

4-(2) 本年度(H12 年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

- ・前年度と同様
- ・三重県済生会が設置主体の重症心身障害児施設（定員40人、ショートステイ10人分、重症心身障害児（者）通園事業施設併設）が平成12年4月から運営開始した。なお、通園事業は、平成12年10月から開始した。

本年度残ると思われる課題

- ・障害者計画等に基づく計画的な整備。

5 基本事務事業の改革方向

重症心身障害児（者）施策については、入所施設とともに、重度の障害があってもできる限り居宅で生活、介護したいという家族のニーズに応えるため、重症心身障害児（者）通園事業をはじめショートステイ受け入れの拡大等在宅支援体制の充実を図る必要がある。

重症心身障害児（者）通園事業、障害児デイサービス事業については、より身近で、通所しやすいところで実施する必要があることから、障害保健福祉圏域毎に実施できるよう事業の推進を図る。

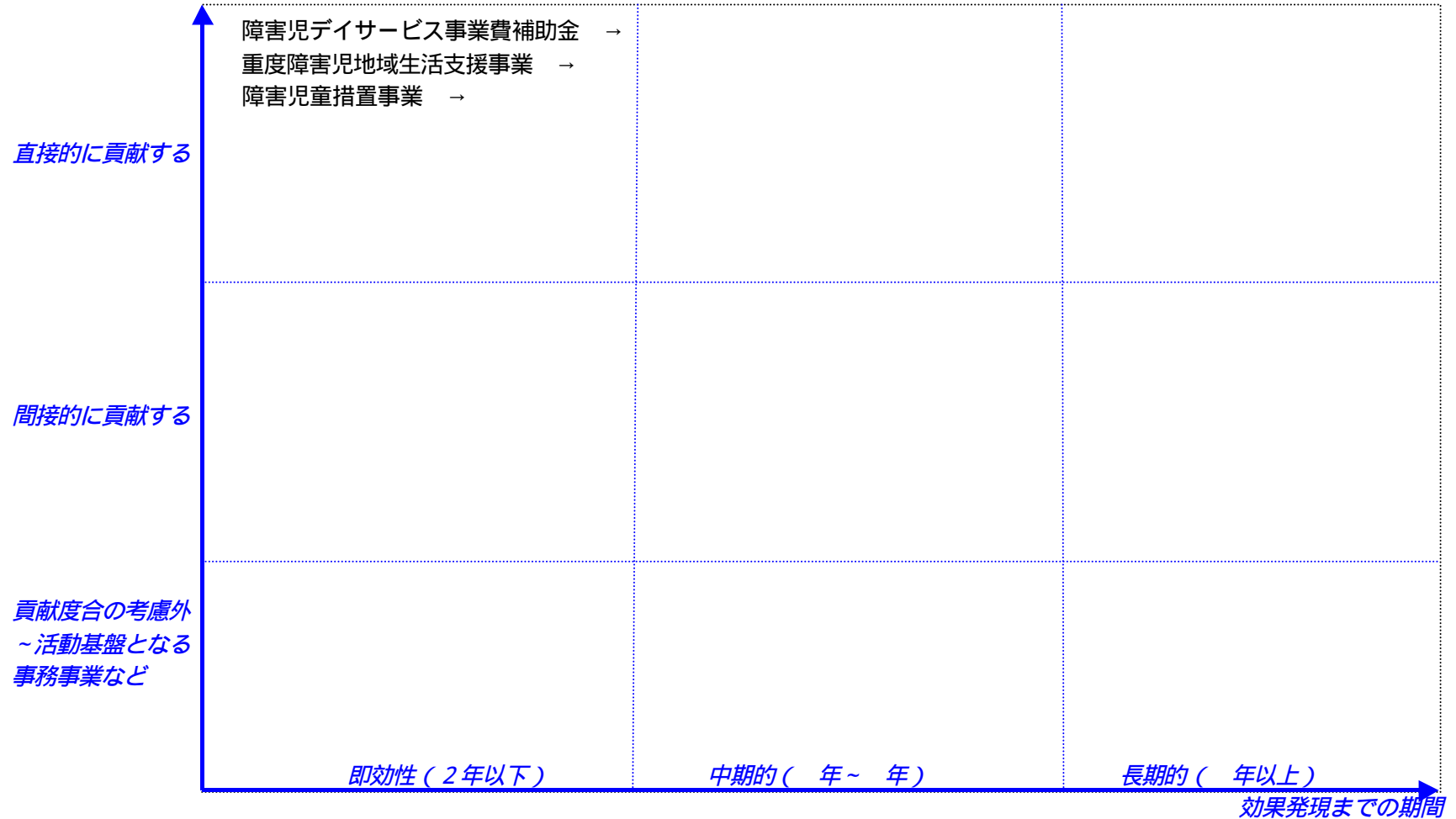
6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間(時間)	
前々年度 (H10 年度)	0 . 3 6	0 . 3 6	9	1,707,384 2,070	1,716,037
前年度 (H11 年度)	0 . 3 6	0 . 3 6	9	1,572,380 1,870	1,580,141
本年度 (H12 年度)	0 . 4 8		1 2	1,709,995 1,680	1,717,034
本年度補正後 (H12 年度)					
翌年度 (H13 年度)	0 . 5 6	——	1 4	1,663,365 1,730	1,670,613
計画目標年次 (H22年度)	1 . 0 0	——	2 5	——	——

7 翌年度(H 1 3年度) の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

<必要概算コスト： 5 億円以上 ~ 1 億円 ~ 5 千万 ~ 1 千万 ・ 1 千万未満 * 休止・廃止>

基本事務事業の成果向上への貢献度合



各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

4 / 4

[illegible]